

# 各業種のプロが集結 「総合的な学習の時間」に講師として参加



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新潟募集案内所（所長 3陸佐 阿部浩二）は、11月10日（火）新潟市立東山の下小学校（新潟市東区）の「総合的な学習の時間」で実施された講演会に講師として参加しました。これは、同校の6年生134名を対象とした「ザ・プロフェッショナル 見つけよう！夢・あこがれ・未来の自分」と題される総合的な学習の一環として、様々な業界で実際に働く人々の生の声を聞くことにより、それぞれの職業についての知識や興味を深める目的で毎年行われているものです。

当日は、新潟募集案内所から長谷川1海曹と関2陸曹が参加した他、警察官、パン職人、フリーアナウンサーなど合計で13種もの業種から講師が参加し、会場内のそれぞれのブースで講演しました。自衛隊ブースには、自衛隊に興味のある45名の生徒が3個グループに分かれて訪れました。



講話では、陸海空自衛隊の各特徴を説明した他、様々な職種があり多様な能力を持つ隊員たちが働いていることや、別々の業務に従事しながらも、国の防衛という共通の使命感を持っていることを強調しました。また、「自衛官になるためにはどうすればよいか」という質問に対し、自衛隊では各種教育や学校等、防衛のプロフェッショナルとしての自衛官を養成するための環境が整えられており、能力や資質は入隊してから十分に身に付くので、チャレンジ精神さえあれば誰でも自衛官となって働くことができると説明しました。

参加した生徒から「自衛隊が一番格好良かった」「パイロットになりたかったので、自衛隊に入れば自分の夢が叶うと思った。将来目指したい」「敬礼を教えてもらえて良かった。自衛隊の人のようにしっかり挨拶できる人になりたい」といった様々な感想の声を聞くことができ、子供たちにとって自衛隊がより身近な存在となりました。

新潟地本は、今後も各学校と連携を取りながら「育てる募集」に心掛け、地域や子供たちに自衛隊に対する理解と信頼を深めて頂けるよう、募集業務に邁進していきます。